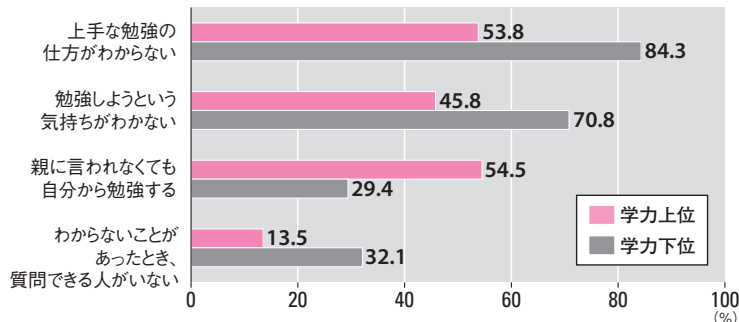


学力層別に見る 生徒の学習動機・理解度と授業方法の関係

生徒の学習動機・学習内容の理解度と授業方法と関係はどのようなものか。学力層の違いに注目して、その実態を見てみよう。

1 学力下位層の8割以上が 上手な勉強の仕方がわからない

Q. 勉強の取り組み方について、次のようなことはあてはまりますか
(回答：中学生、学力層別)



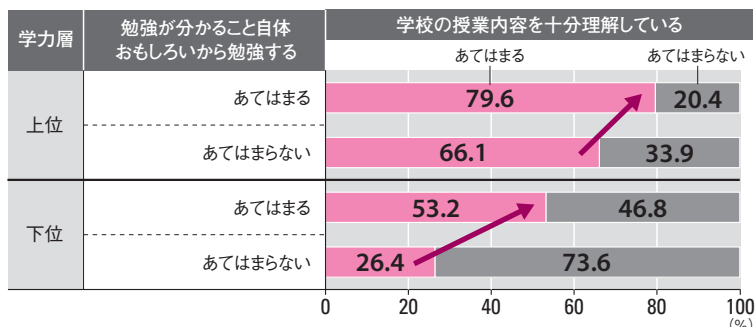
注) 数値は「とてもそう」+「まあそう」の%

出典／Benesse教育研究開発センター「第2回子ども生活実態基本調査報告書」(2009)

生徒の勉強への取り組みを学力層別に見ると、下位層の8割以上が「上手な勉強の仕方がわからない」と回答。「わからないことがあったとき、質問できる人がいない」の比率は、上位層に比べ、下位層で2倍以上高く、下位層のうち約3人に1人が、勉強していてもわからないことがあっても助けを求めることができていない。

2 「勉強が分かることがおもしろい」 生徒ほど、学習内容の理解度は高い

Q. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか
(回答：中学生、学力層別)



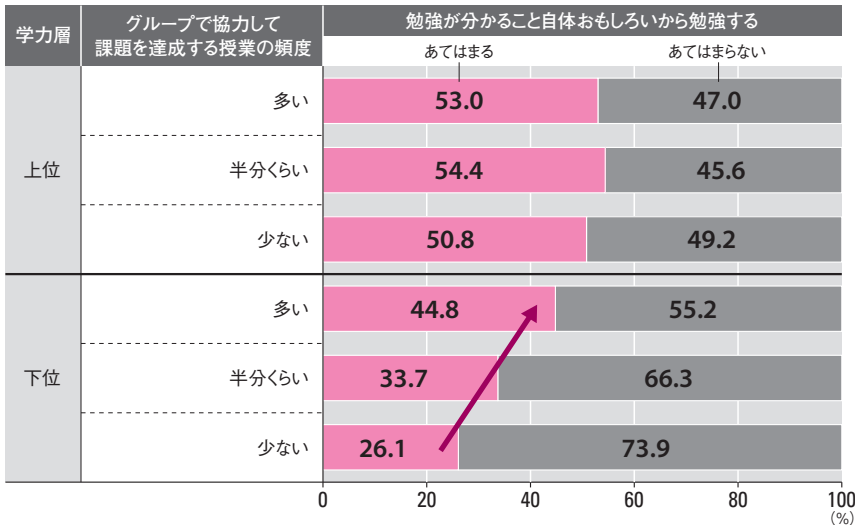
※グラフは上記の調査データを用いて再分析したもの

出典／Benesse教育研究開発センター「神奈川県公立中学校の生徒と保護者に関する調査報告書」(2010)

「勉強が分かること自体おもしろいから勉強する」かどうかと学習内容の理解度の関係を調べたところ、上位層、下位層のいずれの学力層でも、「勉強が分かること自体おもしろいから勉強する」生徒ほど、学習内容の理解度が高い傾向が見られた。

3 グループで協力して課題を達成する授業が多いほど、 下位層は勉強をおもしろく感じる

Q. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか
(回答：中学生、学力層別)

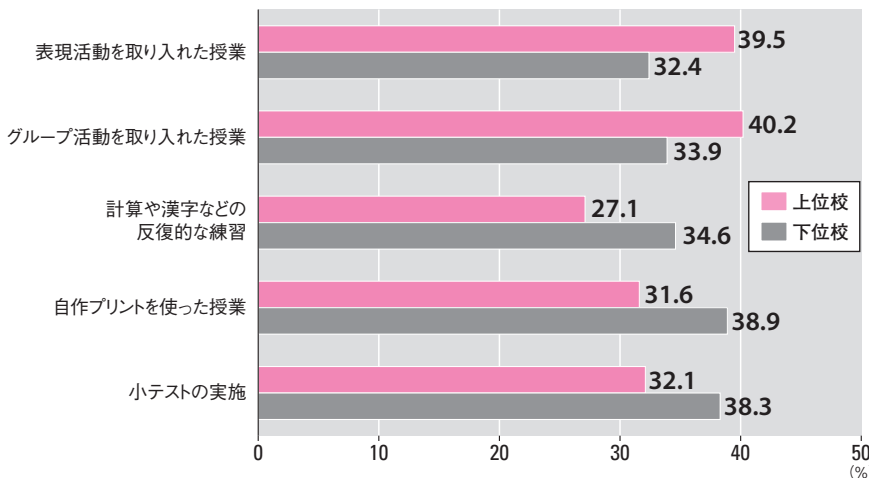


※グラフは上記の調査データを用いて再分析したもの
出典／Benesse教育研究開発センター「神奈川県公立中学校の生徒と保護者に関する調査報告書」(2010)

「勉強が分かること自体おもしろいから勉強する」(学習動機)と、グループで協力して課題を達成する授業の頻度の関係を、生徒の学力層別に見たところ、学力上位層では、グループで協力して課題を達成する授業の頻度と学習動機の間には有意な差は確認されなかった。一方、学力下位層では、グループで協力して課題を達成する授業の頻度が高いほど、学習動機が高い傾向が見られた。

4 心がける授業方法が平均学力に応じて異なる

Q. 教科の授業において、どのような授業方法を心がけていますか
(回答：中学校教師、学力層別)



注1) 数値は「多くするように特に心がけている」の%
注2) 学力層は、中学校の校長に「貴校の平均的な生徒の学力は、全国の公立中学校の中でだいたいどれくらいですか」という質問に対して「上のほう」「やや上のほう」と回答した場合を「上位校」、「やや下のほう」「下のほう」を「下位校」とした
出典／Benesse教育研究開発センター「第5回学習指導基本調査報告書(小学校・中学校版)」(2010)

生徒の平均学力が高めの学校と低めの学校とでは、教師が心がける授業方法に違いが見られる。生徒の平均学力が高めの学校では表現活動やグループ活動を取り入れた授業を心掛ける教師の比率が高く、平均学力が低めの学校では反復練習やプリント学習、小テストを用いた授業を心掛ける教師の比率が高くなっている。